

いわき地域環境科学会会報



ふいーるど

FIELD No.122

< 目 次 >

【ご案内】

- ★ 平成29年度 総会・懇親会..... 1
- ★ 平成29年度 第1回幹事会..... 2

【連載】

- ★ 新川のはじまり 水だより(2)..... 2

【報告】

- ★ NPO法人いわき環境研究室 3
- ★ いわき自然エネルギー研究会の動き..... 3

【リレーエッセイ】

- ★ いわきの自然・風物に接して写真撮影再開..... 4

【ご案内】 平成 29 年度 総会・懇親会

平成 29 年度の定期総会および交流会を下記のとおり開催します。来年度に当会の設立 30 周年を控え、その記念事業の準備に向けた今年度の事業計画を今回の定期総会にてご提案させていただく予定です。

また、昨年度に引き続き総会の後に会員相互の情報交換・意見交換の場として「懇親会」を開催いたします。日頃、会員の皆様がいわき地域の環境や当会の運営などについて考えていらっしゃることを話し合える場としたいと思いますので、どうぞお気軽にご参加ください。

記

1. 日時 平成 29 年 5 月 28 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 30
2. 場所 いわき市文化センター 中会議室(1),(2)
3. 内容 総会 14 : 00 ~ 14 : 50
 - (1) 平成 28 年度事業報告および会計報告, 監査報告
 - (2) 平成 29 年度事業計画(30 周年記念事業準備を含む)案および予算案
 - (3) その他懇親会 15 : 00 ~ 16 : 30
4. 問合せ先 いわき地域環境科学会事務局 担当 : 山田 (TEL : 0246-46-0800)

【ご案内】 平成 29 年度 第1回幹事会

平成 29 年度の第 1 回幹事会を下記のとおり開催します。幹事の皆様の積極的なご出席をお願いします。

記

1. 日時 平成 29 年 5 月 14 日 (日) 15:00~16:30
2. 場所 いわき市文化センター 中会議室(1)
3. 内容 (1) 平成 28 年度事業報告および会計報告, 監査報告
(2) 平成 29 年度事業計画(30 周年記念事業準備を含む)案および予算案
(3) その他
4. 問合せ先 いわき地域環境科学会事務局 担当: 山田 (TEL: 0246-46-0800)

【連載】 新川のはじまり 水だより (2)

いわき科学の里 主宰 諸橋健一 (会員)

お待たせいたしました。2 回目の水だよりをお送りします。今日の話は「雨」です。

昨年の 9 月 4 日。隣組の人が集まり、来週の鹿島神社例大祭のための、しめ縄づくりを行っていたこと。新川の水源の山、いやの山に雲がかかり、小雨が降りだしました。

神社総代の O さんがいやの山を見て、ぽつりとつぶやきました。

「これは、高野だけの雨だな・・・」

作業が終わり、2 時間後。私は平に用事があったので出かけました。雨はたいしたことはありませんでしたが、本降りとなっていました。

宮あたりまで来ると、雨は小降りになりました。内郷の市街地に入ると、道路が濡れている程度。平に来てみると、なんとということでしょう。道路は乾いていて、雨の降った形跡はありませんでした。

※この記事及び観測値の利活用は本会会員に限ります。

降水量観測値	(平成29年)
1月1日~31日	50.0mm
2月1日~28日	21.5mm
3月1日~31日	99.5mm
観測場所	内郷高野町先達
観測者	諸橋健一

◇◇◇NPO 法人いわき環境研究室からの報告◇◇◇

(平成29年3月1日~4月30日)

喜多方での自然エネルギー講演会に参加

3 月 14 日、会津自然エネルギー機構主催の「喜多方をエネルギー地産・地消の先進地域へ」の講演会に、橋本理事長と中西副理事長が参加しました。

基調講演は、東京工業大学特命教授の柏木孝夫氏による「日本のエネルギー地産地消はこうすれ
ばうまくいく」で、一番期待した演題でした。

講演は、はやぶさプロジェクトの川口淳一郎氏の「はやぶさは何故戻れたのか」と慶応大学名誉教

授の清水浩氏の「電気自動車からエネルギーへ」でした。

残念ながら、講演は面白く聞いたが、エネルギーの地産地消についてはあまり得ることがなかった。結局は、自然エネルギーの発生は変動が大きいため、バッテリーなどによる蓄電が有効である。その蓄電方法として、水素の発生/消費や電気自動車のバッテリーが有効であるなどの話であった。また、発電システムとしては大規模発電所から送電するよりも発電を消費地に分散する「地産地消」がよいとの話であった。

川口氏の話は、「はやぶさ」は宇宙開発のトップバッタであるアメリカの模倣でなく、独自のアイデア、システムが成功に結びついた。参加者の半数が高校生ということもあり、研究者は独創性を持つことが如何に重要ななど人材育成に係るものが多い内容でした。如何に聴衆を引きつける話し方が出来るかという意味では非常に参考となった講演会であった。



清水氏の講演はガソリンエンジンに比べ、電気モーターで車を動かす方がエネルギー効率は格段に良く、また、加速度などの性能でも電気自動車の方が優れており、今後は電気自動車が蓄電を兼ねることもあり、主になるとのことであった。

(最近、電気自動車のニュースが多くなり、本格的な普及も近づいているかも知れません)

【報告】 「いわき自然エネルギー研究会」の動き (第14報)

○平諏訪神社拠点施設の管理運営体制が構築されました

拠点3施設(諏訪神社、田人、湯の岳山荘)の管理・運営に関しては、これまで「いわき自然エネルギー研究会」が主体となり管理・運営を進めて参りましたが、可能な限り地元での運営に移管していく方向で調整を進めて参りました。

この内、諏訪神社(平下平窪)の維持管理組織が、本年2月14日に発足(地元住民主体の7名の呼びかけ人で発会、会の名称は「平窪自然塾」)しました。早速、この4月12日に運営会議を開き、新年度事業に取り組むこととなりました。

①地域の老人会対象の講座の開催(募集人数:15名):

○講座名「孫の世代に伝えたいエネルギーの使い方」～ 諏訪神社の自然エネルギー施設の見学、身近なエネルギーを考える、体験コーナー(自然エネルギーに関するものづくり)

○開催日時:平成29年5月23日(火)13:00~15:00 ○場所:諏訪神社社務所

②平浄水場の見学者に働きかけ、諏訪神社の施設見学を促す

③平4小児童の学習支援、平窪公民館主催の「平窪子ども自遊学校」としての学習支援

④地域内(平窪地区)の自然エネルギー施設マップの作成

⑤体験学習 ～ 自然エネルギーだけで一日を過ごす(宿泊活動)

既に、湯の岳山荘の施設については、NPO法人いわきの森に親しむ会が運営に当たっており、今後は、田人地区での管理運営に当たる組織の構築が課題となっています。



【リレーエッセイ】

いわきの自然・風物に接して写真撮影再開

山本敏和(会員)

小学校 4 年生のとき、市内合唱コンクールのために何人か集められて放課後練習がありました。私らが呼ばれた理由は、「上手下手はともかくまじめに歌ってくれる生徒」と言うことだったと記憶しています。昔は真面目だったのででしょうか？ そのとき練習した曲が「冬の星座」です。当時は、オリオン座、スバル、北斗七星かも知りませんでした。綺麗な歌詞と曲に素直に感動しました。それが、星に興味を持つ始まりとなり、百科事典で知った 1986 年のハレー彗星回帰に期待したのであります。

夜見えると祖母に教えられた、ほうき星（ベネット彗星）がネガフィルムに薄く写った中学生時代の懐かしい思い出です。大人になってからは忙しく、1986 年のハレー彗星は見る事が叶いませんでしたが、その後、百武彗星、その 1 年後のヘールボップ彗星は観望出来ました。1998 年までは、旅行先で見かけた景色をカメラ手持ちで安直に撮ったり、職場でフード付きのオシロスコープ画面という味気ないものを撮影したりしていました。

初めていわきに来た時には、私が海無し県出身であるのを知ってか知らずか、常磐線列車内の近くの席で二人のご婦人がたまたま、「いわきは海と山が有って景色の良い所」と話しあっておりました、良い所に住めるのだなと思いました。引っ越してきて 4 月初めには、ラジオの気象通報で情報が流される小名浜へ行き、続いて塩屋崎灯台を訪れて広い空、海、山の風景に接し、いろいろと撮りたくなってきました。しかし、8 月の小名浜花火はうまく撮れずに終わります。また、「流星雨が期待される」と報道されていた 11 月の獅子座流星群を初めて撮影を試みるも、流星が写野にうまく入らなくて撮れずに終わりました。

さて、2001 年 デイヴィッド アッシャー 氏により、獅子座流星群の大出現が予想され、魚眼レンズを用意して撮影に挑戦。月のない晴天のもと、いわきでも流星雨を見た方が多かったと思います。10 分ほどの露光時間で数十個の流星が写りました。今考えれば、ISO 感度 400 のネガフィルムと開放 F 値 4.5 のレンズで写ったのですから、大変明るい火球クラスの流星が沢山出現したのだと思います。現在は、ISO 感度 1 万を超えて設定できる高感度のデジタルカメラが普及して来ましたので、「流星雨よ再び！」と願っています。

カメラを持つと人は狩人のように被写体を探して動きますので、心と体の健康のために良いかも知れません。太陽、月、彗星、猫、鳥、昆虫等々良い被写体に巡り会えた時は大変嬉しいものです。



2013年8月 ペルセウス座流星群



カワセミ (雌雄)



波立海岸の月の出

2017. 5.1. No.122

発行：いわき地域環境科学会
福島工業高等専門学校
地域環境テクノセンター内
〒970-8034
いわき市平上荒川字長尾30
TEL. 0246 (46) 0837
FAX. 0246 (46) 0843
E-mail : mail@essid.org